

42 年卒寮「伊豆長岡同期会」記

42 年卒寮の同期会は今年も集まりやすい伊豆熱海地方の穴場「伊豆長岡温泉」に一泊旅行となった。

参加は関西から今井、河田君 東から吉川、田島君、柳田そして高木君の 6 人。

11 月 9 日小春日和の昼 JR 三島駅前集合し早速近くの寿司屋で互いの無事を確かめ乾杯の後三島市郊外の「スカイウォーク」に遊んだ。全長 400 m の日本一長い歩行者専用の吊り橋とそこから見る富士山というのが売り物だが残念ながらこの日は雲に隠れて見えず。インバウンド客に混じって渡り始めるも 70 m の高さで揺れに昼酒の酔いも醒め早々に退散と相成った。

ご承知の通り「伊豆長岡温泉」は三島から電車で 30 分ほどにあって源頼朝も度々湯治に訪れたと伝わる由緒ある温泉である。高木君がここに選んでくれたのは和風旅館「頼朝の湯本陣」。こじんまりした静かな宿に泊まり客も少なく頼朝も入浴したと伝わる岩風呂にゆったり浸かり温泉気分を堪能した。新鮮な魚介と地酒で歓談した後は部屋での 2 次会。八十路に前後する歳となってやはり老化進む身体の心配事や健康話が

多くなるのは仕方のないこと。とは云え焼酎酌みつつ話は尽
きず亡き同期諸氏の思い出話も含め深夜まで歓談は続いた。

翌日は生憎の雨だったが狩野川を挟み対岸の葦山にある 42
代続く江川氏の代官屋敷跡を見学した。自分としては反射炉
建設で知られ幕末の世に多大な功績を残した 36 代江川太郎
左衛門英龍の幕政から塾教育果ては兵糧としてのパン作りな
ど幅広い分野に及ぶ偉業に改めて感銘を深くした。

三島に戻った一同はこれも高木君推薦の蕎麦の名店「飯嶋」
で昼食のあと正午過ぎ駅頭で再会を約しつつ解散となった。

同期の集まりも健康や体調などで制約が増す中難しくなる一
方ではあるが、1 年もう 1 年と続けていけるよう念じたい。

綿密な計画を立ててくれた今井弘昌君 様々な手配を一手に
引き受けマイカーで送り迎えまでしてくれた高木俊治君に参
加者一同厚く感謝いたします。

柳田雅之 記